



十勝川治水100年
トークリレー ⑬

十勝川中流部市民協働会議（以下、十中協）は、「十勝川水系河川整備計画」に基づく「川づくり」を話し合うワークショップ（帯広開発建設部主催）の終了を受けて、「自分たちの立案した計画の遂行に自分たちも参加する」ことを目的として、メンバー有志で2012年7月に結成されました。十中協は、流域住民、自然保護団体、生物専門家、地元観光関係者、建設会社、建設コンサルタントなど多様なメンバーで構成。河川管理者との協働を強化し、地域住民が計画策定から工事完成に至るまでの期間を一貫して川づくりに関わっていく「十勝川モデル」を構築しつつ、ワ

十勝川治水100年記念事業

トークリレー



十勝川中流部市民協働会議
柳川 久 氏



十勝毎日新聞
令和5年7月12日 3面 掲載

十勝川中流部市民協働会議代表 柳川久氏



教育、防災：広く活動

ワークショップでの川づくり案づくりの工程が行われているかをプラン（P）としたPDC（Aサイクル（Dは河川管理者による工事の実施）による川づくりの実現を目指していま

ンバーの中に地元の高校の講師をしている方がいます。その縁で高校生に対する川の防災教育・環境教育などに関するさまざまな活動を行うことになりました。

現在では十中協は、当初の目標である「河川整備時のPDC」の枠を超え、その活動を地域の人材育成や地域づくりまで広げ、以下に示す4つの大きな基本方針に基づいて活動をしています。①高校との連携②水辺の楽校の再興③河川文化の伝承④地域防災への貢献です。

◆ 十勝川の治水事業は今年、100周年の節目を迎えた。治水事業と関わりのある関係者の思いや将来に向けたメッセージを紹介する。

（随時掲載）

